

第17回世界湖沼会議（いばらき霞ヶ浦2018）について

1. 世界湖沼会議（World Lake Conference）の概要

- ・世界湖沼会議はおおむね2年ごとに世界各地で開催され、研究者、行政担当官、NGO等が一堂に会し、世界の湖沼及び湖沼流域で起こっている多種多様な環境問題やそれらの解決に向けた取組について議論や意見交換を実施。

2. 第17回世界湖沼会議（いばらき霞ヶ浦2018）の開催要旨

（1）開催概要

- ・日本での開催が4回目となる第17回世界湖沼会議は、49カ国の国・地域及び国内各地から、のべ約5,500人が参加し、活発な意見交換が行われた。

- 1) 会議テーマ：人と湖沼の共生 –持続可能な生態系サービスを目指して–
- 2) 開催期間：平成30年10月15日（月）～19日（金）
- 3) 開催場所：つくば国際会議場（茨城県つくば市）
- 4) 開催主体：主催 茨城県、国際湖沼環境委員会*〔ILEC〕
共催 国交省、環境省、農水省、土浦市ほか3市1町等

※世界の湖沼環境の健全な管理とこれと調和した持続的開発の在り方を求めて国際的な知識交流と調査研究推進を図ることを目的として、滋賀県によりS61に設立された公益財団法人。

（2）主なプログラムの概要

- 1) 基調講演（地球温暖化、気候変動による湖沼の変化や生態系への影響）
講演者：三村 信男 国立大学法人茨城大学学長
- 2) 政策フォーラム
茨城県知事のほか、関係省庁、国際連合等の国内外の政策担当者が「人と湖沼の共生」について議論。
- 3) 湖沼セッション・霞ヶ浦セッション
国内外の主要な湖沼流域の市民、行政、研究者及び企業等が流域内及び流域間連携を推進するための活動内容や施策等について討議。
- 4) 分科会
研究者や市民団体等が湖沼の水質と生態系機能などテーマごとに分かれた9つの分科会において研究や活動成果について発表を行い討議。

（3）開催結果

- 1) いばらき霞ヶ浦宣言2018
「生態系サービスを衡平に享受すること」及び「生態系サービスを次世代に引き継ぐこと」に関する「いばらき霞ヶ浦宣言2018」を採択。
- 2) 湖沼水環境保全に関する自治体連携設立宣言
茨城県、滋賀県、長野県、鳥取県、島根県の5つの県が湖沼の水質や生態系を含む水環境保全に向けて連携強化を図り、「湖沼水環境保全に関する自治体連携」を設立することを宣言。

（4）次回開催国

- ・2020年にメキシコ合衆国グアナファトにおいて開催。